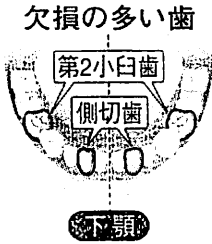


# 永久歯欠損10人に1人

28本の永久歯のうち、1〜数本が何らかの原因により作られず、欠損している「先天欠如」の子どもが10人に1人いることが、日本小児歯科学会の初の全国調査で5日、分かった。

全部が生えそろわないと、かみ合わせの異常など、さまざまな悪影響が出る可能性がある。担当した山崎要一鹿児島大学教授（小児歯科学）は「かなり多い数だ。治療の多

## 学会初の全国調査



くは自費診療が必要なし、治療ができる専門の歯科医師の数も少なく、大きな問題だと考えている」と話している。

2007〜08年に、先天欠如以外の理由で歯科を受診した12都道府県のある第2小白歯がない7歳以上の子ども1万5544人を調査。先天欠如は1568人（10・1％）で見つかった。男子では9・1％、女子では11・0％だった。

上顎だけに欠損がある子は2・5％、下顎だけは5・7％、両方は1・9％。下顎で、中央から左右に向かって5本目にある第2小白歯がないケースが最多で、2本目の側切歯がない子どもも多かった。

7歳の段階でエックス線写真でも永久歯の芽（歯胚）が確認されないと、約99％の確率で欠如するとされる。乳歯は普通に生えていることが多

## 原因不明 かみ合わせ異常も

永久歯の先天欠如は原因不明のため、予防はできない。かみ合わせを正常にするため、歯並びを整えたり、インプラント（人工歯根）治療をしたりするなど、かなり専門的な治療が必要になるという。

山崎教授は「学会のホームページで紹介する専門医か矯正歯科医に相談してほしい」と話している。